



題字 井口 文章
再刊 第291号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2019

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面・快晴のもと57回生宿泊研修
錦城の平成30年を振り返る
二面・錦城に新たな顔ぶれ 14人の新任教師
この時期に要注意！五月病の対策を

富士山の下で築く仲間との絆

57回生、笑顔あふれる宿泊研修

4月16日(火)～18日(木)に新1年生496名が山梨県にある「富士緑の休暇村」へ宿泊研修を行った。晴れ空の下、運動会、キャンドルファイヤー、飯盒炊爨など様々な行事を通して、新たな仲間との絆を深めることができた3日間となった。その様子をお伝えする。

初日は天候に恵まれ、時間に遅れることなく良いスタートをきった。最初は河口湖のそばにある小海公園で昼食。食後はクラスで鬼ごっこをしたり、クラスメイトとおしゃべりしたり、思い思いに楽しんでいる様子だった。



声を掛け合いながら体を後ろに大きくそらし、攻防が続く

ながらの盛り上がりを見せ、宿泊研修は初日から大盛り況が始まった。



風が吹く中、薪をくべる

2日目の夕食後、体育館でキャンドルファイヤーとフォークダンスが行われた。最初に柴田慶一先生と山下和泉先生の扮する火の神と女神が現れる。各クラス代表の生徒達が火の精としてローソクに火をともし、フォークダンスが始まった。練習ではステップを間違えたり、次の人とうまく交代できなかったりする様子もあつたが、本番は練習回数を重ねることに、段々と踊れるようになっていった。

2日目の夕食後、体育館でキャンドルファイヤーとフォークダンスが行われた。最初に柴田慶一先生と山下和泉先生の扮する火の神と女神が現れる。各クラス代表の生徒達が火の精としてローソクに火をともし、フォークダンスが始まった。練習ではステップを間違えたり、次の人とうまく交代できなかったりする様子もあつたが、本番は練習回数を重ねることに、段々と踊れるようになっていった。

部活 掲示板 #急募 #君の入部届をもらいたい #その2



投げ技の練習をする部員

柔道部
現在は3年生6人、2年生2人の計8人で活動している柔道部。火、水、木、金、土の5日間は活動日となっている。部長の古賀亮作くん(3J)は「筋トレや技の練習、試合形式の練習を主にしています。20秒間繰り返して投げ技の練習を行う『打込』も行っています」と話す。打込は遠征に行ったときに強豪校が行っていたのをまねてやっているそうだ。キャプテンの高橋靖知くん(3I)は入部したきっかけを「元々何か武道をやりたいと思い、部活見学をしていたときに先輩が優しく接してくれたため柔道部に入ろうと決めました」と笑顔で語る。1年生に向けて古賀くんは「柔道を高校から始めて、都大会で勝った人もいます。ぜひ始めてみてください」とメッセージを送った。(杏)

クッキング同好会
3年7人、2年5人と新入生3人の計15人で活動中のクッキング同好会。月1回を目安に昨年度はケバブ、クリスマスケーキ、手作りソーセージなどを作り、文化祭では唐揚げも発売した。兼部は可能で、料理が出来なくても食べることが好きな人なら大歓迎という。最近の活動としては、4月27日(土)に3学年で協力してのスイートポテトの調理があった。代表の坂井友美さん(2G)は「年の差関係なく和気あいあいと楽しめる部活です。気軽に見学してください」と笑顔で話した。



和気あいあいとスイートポテトを作る3人

新入生の心に響く合唱を



コンサートに向けて練習をするメンバー

4月13日(土)合唱同好会の新入生歓迎コンサートが、視聴覚室Aにて行われた。このコンサートは、有志合唱団が合唱同好会として認可されてから初となるコンサートだ。今回は『やさしさに包まれたら』や『時の旅人』など、6曲に加え、アンコール1曲の計7曲を合唱。息の揃った力強い合唱で観客を魅了した。曲の合間には、司会の中島紗良さん(3E)と玉野井太志くん(3J)の2人が、面白く紹介して観客を楽しませる。アンコールでは『虹』を披露し、大きな拍手が巻き起こる中コンサートは幕を閉じた。

「合唱をやったことがない人にも親しんで貰えるように、ジブリなどの皆が知っている曲を選曲しました」と曲構成を担当した玉野井くんは語る。代表の熊田あいなさん(2E)は、コンサートに向けて「人数がそろわない時もあ

平成を振り返る 教師が語る錦城の30年間

令和になって1週間。その平成の31年間に錦城高校で過ごした大音雅克先生(以下「大」)、鈴木浩一先生(以下「鈴」)、北川資人先生(以下「北」)に錦城の30年を振り返ってもらった。今回はその前半をお送りする。

1997(平成9)年、35回生の代から錦城は共学校に。大・生徒が変わったね。「錦城が好き」と言ってくれるようになったんだ。

3人・激変しましたね。大・3送会が始まったのもその時だったよね。

3人・「激動」かな。北・平成元年から高校生自体の人数が半減し、日本の高校は大ダメージを受けていたんだ。でも錦城は逆。生徒数も学校の人気も上がり続けた。30年だった。

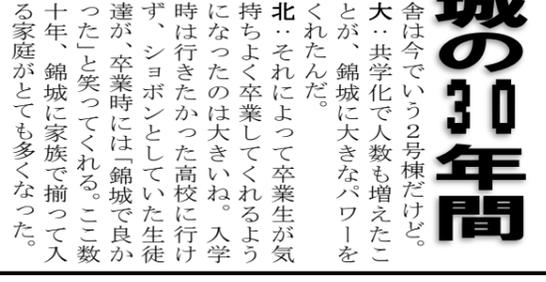
平成の錦城を懐かしそうに語る3人

北・共学化後から、生徒に愛好心が生まれたように思う。「いい感じ」って言うてるようになったんだ。

鈴・生徒たちが学校づくりに参加してくれるようになった。自分から学校を作ってくという姿勢を、その頃から感じられるようになったんだ。

鈴・共学化がやっぱ大きな変化だったね。制服や校舎も変わって、きれいになったの。深いものがありますね。

鈴・そう比較してみると、感慨もそのとき。その変わった校



30年前の錦城の授業の様子

「北」に錦城の30年を振り返ってもらった。今回はその前半をお送りする。

「鈴」・北川資人先生(以下「北」)に錦城の30年を振り返ってもらった。今回はその前半をお送りする。

国語科

山下 和泉先生

1年現代文・3年国語演習



国語は全教科の基礎となる科目です

高校時代、陸上部に所属していた山下先生は、失敗が多かった自身の経験を生徒に生かしたいと思い教師になったそう。趣味は、ピアノを弾くことと生き物に触れることと熱く語っていた。また、千葉ロッテマリーンズの大ファンで「実家が千葉なのもあり、大学時代は1年間で約20試合くらい観戦していました」と山下先生。

山本 尊人先生

2年現代文・3年国語

映画鑑賞と幼稚園から続けている水泳が趣味の山本先生。本に愛着があったため、現代文の先生になるのを志したそう。高校時代は徒歩部に入っていて、山岳部のように山登りをしていたという。実際に授業をしてみても「錦城生は真面目なときとふざけるときのオンオフがはっきりしている。いいなと思います」と話す。



昔図書館の司書も務めていました

錦城生へ「学生の半分は勉強だと思えますが、それ以外の経験もいっぱい試してみてください」とエールを送った。

山田 優太先生

1年古典・3年漢文

高校では演劇部だったという山田先生は高校2年生の時に演劇の脚本を書いたことがあるという。その体験は今でも大切な思い出で「公演したときはこぼれ涙のような、嬉しいような気分でした」と話した。古典の先生になると思ったきっかけは学生時代に出会った三国志や朱元璋など中国の物語。文学の力強さに感銘を受けたと語った。大学



漢文は中国だけでなく日本の文学でもあります

では古典小説をより深く学ぶ機会があったという。漢文を原文のまま学ぶことができ、漢文の原点を学べたそう。錦城生へ「何か分からないことがあったら、ぜひ質問に来てください」と優しげにメッセージを送った。

白井 峻先生

1年古典・3年古文



雑談するなど一息できる時間を授業に入れています

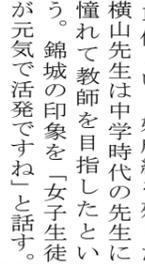
高校時代は軽音楽部に所属し、ギターが特技だという白井先生。元々作曲家などに興味があったそうだが、大学時代に、教えるだけでなく、生徒からの意見によって気分を盛り上げられるという点に惹かれ、教師になったという。趣味は勉強、読書、音楽鑑賞。勉強は主に担当教科である国語をしているそう。古典、現代文など全般的にできるようにしていますと語る。

最後に白井先生は「受験勉強において最高のものを与えられるようにしたいです」と今後の目標を掲げた。

社会科

横山 翔真先生

1年倫理・3年世界史



文武の「武」みみれの高校時代でした

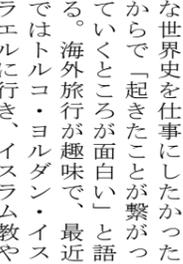


文武の「武」みみれの高校時代でした

大学時代にヨットで全国10位という好成績を残した横山先生は中学時代の先生に憧れて教師を目指したという。錦城の印象を「女子生徒が元気で活発ですね」と話した。

河合 春佳先生

1年地理・3年世界史



河合先生は高校時代世界史が好きで大学ではドイツとフランスの歴史を研究していた。先生になった理由も好きな世界史を仕事にしたかったからで「起きたことが繋がっていくところが面白い」と語る。海外旅行が趣味で、最近ではトルコ・ヨルダン・イスラエルに行き、イスラム教やユダヤ教の文化に初めて触れて驚いたという。

河合先生は高校時代世界史が好きで大学ではドイツとフランスの歴史を研究していた。先生になった理由も好きな世界史を仕事にしたかったからで「起きたことが繋がっていくところが面白い」と語る。海外旅行が趣味で、最近ではトルコ・ヨルダン・イスラエルに行き、イスラム教やユダヤ教の文化に初めて触れて驚いたという。

錦城生の第一印象はみんな真面目。「話し始めれば静かにしてくれるし、反応が欲しいときに返してくれる」と授業をした感想を話す。座右の銘は「死ぬこと以外かすり傷」と河合先生。失敗を恐れずにポジティブな授業をしたいと意気込んだ。

渡辺 興先生

2年日本史・政治経済



「2WAY」の授業がしたいです

高校時代はサッカー部に所属していた渡辺先生。「1年生の時は7時半から練習があったんですけど、その練習前に6キロ走っていました」と当時のハードな練習を振り返る。そのため勉強はなるべく授業で吸収しようと思いついたそう。そして大学でサッカーのコーチをしていく中で教育の面白さを知り教師を目指すことを決めたそう。歴史は「見方は1つだけじゃない」ところが面白いと語る。

河合先生は高校時代世界史が好きで大学ではドイツとフランスの歴史を研究していた。先生になった理由も好きな世界史を仕事にしたかったからで「起きたことが繋がっていくところが面白い」と語る。海外旅行が趣味で、最近ではトルコ・ヨルダン・イスラエルに行き、イスラム教やユダヤ教の文化に初めて触れて驚いたという。

錦城高校は今年度14人の新しい先生を迎えた。高校生時代の思い出や趣味、毎時間の授業にける熱い思いなどを聞いた。取材を通して、普段は中々見ることのできない意外な一面や趣味についても知ることができた。(編集部共同取材)

新任 新時代を彩る！14人の先生たち

石坂 太一先生

1年地理・2年日本史



卒業後にも会いたくなる教師に

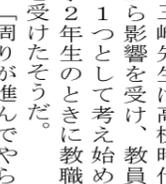
錦城50回生でもある石坂先生は高3のときの担任であった串田先生の後押しで教師の道を選んだそう。錦城在学時印象に残っていることは、錦城祭での映像作品だと話す。歩きながら後ろのゴミ箱などの「ばっかいいい」映像を撮ったそう。また古着を扱うことが趣味で「店主の方が適度な距離を置いてくれるので、自由に物色できることが魅力」と熱く語った。理想の教師像として「卒業した後も会いに来たいと思えるような教師」と夢を口にした。

河合先生は高校時代世界史が好きで大学ではドイツとフランスの歴史を研究していた。先生になった理由も好きな世界史を仕事にしたかったからで「起きたことが繋がっていくところが面白い」と語る。海外旅行が趣味で、最近ではトルコ・ヨルダン・イスラエルに行き、イスラム教やユダヤ教の文化に初めて触れて驚いたという。

錦城生の第一印象はみんな真面目。「話し始めれば静かにしてくれるし、反応が欲しいときに返してくれる」と授業をした感想を話す。座右の銘は「死ぬこと以外かすり傷」と河合先生。失敗を恐れずにポジティブな授業をしたいと意気込んだ。

三崎 龍先生

1年数I・A・2年数II



最後に安江先生は錦城生へ「やりきりたいことをそれぞれ1個1個やり遂げて次に進んで行ってほしい」と訴えた。

三崎先生は高校時代の恩師から影響を受け、教員を職業の1つとして考え始めた。大学2年生のときに教職の授業を受けたそう。周囲が進んでやらない公式や定理の証明などをできたときに喜びを感じる」と数学の魅力語る。また、休日は授業用のプリント作りなどをして過ごしているそう。錦城生へ「数学は文理問わず幅広く使えると思います。得意な人はどんどん進めて、苦手な人もどんどん質問してください」と呼びかけた。

河合先生は高校時代世界史が好きで大学ではドイツとフランスの歴史を研究していた。先生になった理由も好きな世界史を仕事にしたかったからで「起きたことが繋がっていくところが面白い」と語る。海外旅行が趣味で、最近ではトルコ・ヨルダン・イスラエルに行き、イスラム教やユダヤ教の文化に初めて触れて驚いたという。

錦城生の第一印象はみんな真面目。「話し始めれば静かにしてくれるし、反応が欲しいときに返してくれる」と授業をした感想を話す。座右の銘は「死ぬこと以外かすり傷」と河合先生。失敗を恐れずにポジティブな授業をしたいと意気込んだ。

中村 星仁先生

1・2年ダンス・2年保健



少しでもダンスを好きになってほしいです

教師を目指したきっかけは、高校1年生の時の担任の先生が面倒見のいい先生だったから。生徒の話をよく聞いてくれたり、進路の相談にも乗ってくれたりして「自分もそうなりたい」と思ったそう。高校、大学とダンス部に所属している、小さい頃から体を動かすのが好きだったという。教師になることしたら「体育育の先生になったと話した。中村先生は「授業をしている人、していない人に関わらず声をかけてもらえる嬉しい」と締めくくった。

河合先生は高校時代世界史が好きで大学ではドイツとフランスの歴史を研究していた。先生になった理由も好きな世界史を仕事にしたかったからで「起きたことが繋がっていくところが面白い」と語る。海外旅行が趣味で、最近ではトルコ・ヨルダン・イスラエルに行き、イスラム教やユダヤ教の文化に初めて触れて驚いたという。

錦城生の第一印象はみんな真面目。「話し始めれば静かにしてくれるし、反応が欲しいときに返してくれる」と授業をした感想を話す。座右の銘は「死ぬこと以外かすり傷」と河合先生。失敗を恐れずにポジティブな授業をしたいと意気込んだ。

水田 みゆき先生

小学から保健室の先生に憧れをもっていた水田先生。今まではナースとして救命センターや透析センターに勤務し、様々な患者さんと接していたそう。病院と保健室での勤務の違いを聞くと「前歯



高校時代のモットーは「授業中、絶対寝ない」

が欠ける、自転車で転ぶなどの学生ならではのケガが多いですね」と語る。趣味は10年くらい前に始めたカメラで、今は自分の子どもを被写体にして撮っているという。錦城生に向けて「勉強も自分の体調管理もしっかり身につけて、大成してほしいです」と笑顔で話した。

河合先生は高校時代世界史が好きで大学ではドイツとフランスの歴史を研究していた。先生になった理由も好きな世界史を仕事にしたかったからで「起きたことが繋がっていくところが面白い」と語る。海外旅行が趣味で、最近ではトルコ・ヨルダン・イスラエルに行き、イスラム教やユダヤ教の文化に初めて触れて驚いたという。

錦城生の第一印象はみんな真面目。「話し始めれば静かにしてくれるし、反応が欲しいときに返してくれる」と授業をした感想を話す。座右の銘は「死ぬこと以外かすり傷」と河合先生。失敗を恐れずにポジティブな授業をしたいと意気込んだ。

体育科

養護

五月病にご用心

今の時期に注意したい「五月病」。スクールカウンセラーの中島静代先生によると、五月病とは環境の変化による疲れから起こる無気力な症状のこと。新生活の疲れがたまった状態でGWに入り、休みが明けても立ち直れなくなってしまうそう。具体的な症状にはやる気が出ない、食欲不振、眠れないまたは十分な睡眠をとっても眠気が覚めないなどだ。五月病にならないための対策として中島先生は「睡眠や食事もしっかりとり、気分転換を新しいことをやる」とかえってストレスになるようなことをやめるのが効果的。ゲームやスマホも適切な距離でないストレスの原因になることも。元々自分が好きなことをやるのが効果的

大会報告 陸上部 4月20日(土) 陸上部対校選手権大会 第5・6支部予選会 大会出場

生徒会動静 4.23~4.27 4月23日(火) 保健委員会 4月26日(金) 図書委員会 新聞委員会 錦城祭実行委員会 4月27日(土) HR委員会 中央委員会 常時活動中

改善された上履き&スクールバッグ 1年生から上履きがリニューアルされました！2・3年生の上履きと変わった点は靴底が分厚くなり、クッション性が高くなったこと。リニューアルされたものの方が耐久性の高さを感じ、歩きやすいと話す2年生も。次号以降で詳しく取り上げます！ (英) (←)新しく導入されたリュックサック 新学期が始まり、リュックサックを背負って登下校する1年生をよく見られるようになりました！今年度導入されたリュックサックは本日から在校生も購入が可能となります。リュックサックについても次号以降で取り上げます！